

避難食のおにぎりの美味しさに感心 60名の参加で防災・防火訓練を開催



避難食のアルファ米をおにぎりにして、参加者で試食をしました。お湯は非常用の水を使用しました。を中心に行って頂きました。

さらに、3年ぶりの起震車体験もしていただくところですが、新年度には県がグレードアップした新しい起震車を購入することですので、今度は新車で体験してみたいものです。

非常食を備えてください

最後は、給食給水班のみなさんが避難食の「五目ごはん」をおにぎりにしてくださいましたので、参加者全員で試食をしました。「おいしいね」「こうちゃんいかんけんど、どこに売りゆうが」とか「自主防災会で注文を取ってもらえたらえいに」とかのご意見も口々に出されていました。

訓練の終了にあたって、消防局の消防士さんから「防災のためには、日頃から地域コミュニティーを大切に、住民同士のつながりを大切に」との講評をいただき、解散となりました。運営する側も、少し慣れ、スムーズに進みましたので、予定より早めに終わりましたが、サーパスからの参加もあり、参加者はおよそ60名ほどになりました。

そして、今回初めて、避難する際に、玄関扉の表に「安否確認プレート」を貼りだすこととしていましたが、割と貼り出されていたようです。

今回の訓練で気づいたことを反省材料に、日頃の備えを強化しておきましょう。

3月9日には、マンション自主防災会発足以降、2回目（以前から管理組合としては毎年訓練していました）の防災訓練を行いました。

台所の天ぷら油引火消火も経験

今年は4階で火災発生があったとの想定で、避難後、水消火器での消火訓練の後、今年新メニューとして取り入れた台所で天ぷら油の引火を濡れタオルで消火するという訓練も行いました。こわごわの面もありましたが、滅多に経験できない訓練ですので、特に、日頃台所に立つ機会の多い女性



「継続は力」毎年の積み上げを大事に



非常階段を使って避難する住人のみなさん



避難後受付場所で安否確認



消火器の使い方について消防職員からの指導



天ぷら油が引火した際の消し方の注意を受ける



いざ、濡れタオルで引火したお鍋を消火



起震車を体験する参加者のみなさん

てんぷら油火災の消火

今回は、緊急な対応として、水にひたし堅く絞った大きめのタオルをてんぷら鍋の上にかぶせるという手法を訓練しました。しかし、場合によっては、「タオルをかぶせ消えたと思いきうちにタオルを外したために再発火する」「タオルを慌ててかぶせたため、十分に鍋を覆いきれず消火に失敗」「使用したタオルが小さく、十分に鍋を覆いきれず消火に失敗」「タオルの絞り方がゆるかったために、水滴が油面に落下して炎が拡大」ということもありますので、注意が必要です。

もっとも有効な消火手段としては、「強化液消火器」や強化液タイプの「エアゾール式簡易消火具」(消火用スプレー)だと言われていますが、通常ご家庭にある「粉末消火器」も消火能力は高く消火に有効です。ただし、粉末薬剤が視界の妨げになり離れた場所から鍋内に命中させることが難しいようです。

また、絶対やってはならないのが「水を注ぐこと」「鍋を移動させること」「座布団や毛布をかけること」です。

いずれにしても、最も大事なことは、てんぷら油火災を出さない事が一番重要なことです。そのために心がける最大のポイントは「揚げ物料理中は絶対にそばを離れないこと」どうしても離れる必要があるときは、必ず火を止めてから離れる習慣を日頃から身につけておきましょう。



おにぎりを頬べる参加者のみなさん



防災への備えは日頃のつながりとのアドバイス

炊き出し訓練をやってみて

給食給水班長 林郁子(911号)

避難食「五目ご飯」非常食は30食分の一括購入で県庁生協に注文し、稲荷町の配送センターから届けて頂きました。ラップでおにぎりを作る方法(お皿や水なども不用で非常時には便利)は昭和小の「あそぼうさい」で北村さんとともに学んだことが役に立ちました。給食給水班員以外で応援して下さった方も多く、順調に用意ができて、30食分から70個のおにぎりを作り試食して頂きました。お味も好評で、ホットしました。なお、湯沸かしから始まって試食までの時間は1時間10分程度でした。

今後は、各ご家庭で非常食を常備して頂いたら良いと思います。

【準備品】五目ご飯30食、水4リットル+2リットル、カセットコンロ2台、ガス2本、鍋2、ラップ、シャモジ小、割り箸

【班員また班員以外でお手伝い頂いたみなさんありがとうございました】

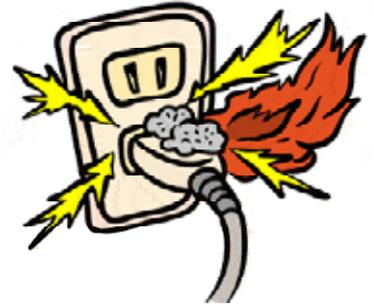
北村さん、吉本さん、島本さん、畑山さん、川見さん、西内さん、サーパス から白石さん

トラッキング現象による 電気コンセント火災発生への備えと処置について

台所での天ぷら油の引火というケースも起こりうるのですが、電気コンセントからの失火というケースもあります。これも、日頃から注意しておけば防げるものですので、心がけについてお知らせします。

電気コンセントから失火する場合は、原因としてコンセント内にホコリがたまり、このホコリが湿気を吸うことによってプラグの電極間で火花放電が起こり、発熱して発火に至ることがあげられます。これを『トラッキング現象』と言いますが、当マンションも築20年となり、お部屋のコンセント内にもホコリがたまっている可能性があります。是非、お気をつけ下さい。

ほこりを溜めたまましていると発熱し発火する場合があります。



もし、コンセント等から煙が出た場合は

お手持ちの消火器にて消す。消火器には、適応火災を示す色マークが付いていますので、青色の電気火災用表示があるものをご使用下さい。

プラグを差し込んでいた場合は、抜いて電気を止める。

洗面所にある電気スイッチのブレーカーを下に下げて電気を止める。

119番に通報する。近くの方に大声にて火災を知らして助けを求める。日中であれば、管理員に通報する。

火災防止のためにホコリを防ぐ対策

あまり使わないコンセントにホコリが入らないように挿入するプラスチックの差し込み部品。 5個入り140円

ホコリ防止シャッター

延長コード付のものなどさまざまありますが、プラグを抜いた際にコンセントの差し込み口にシャッターが降りるもので、各種あります。

いずれも、ベスト電器の3階にありますので、実際ご覧になってお確かめ下さい。



ホコリを防ぐための器具も多く出回っています。

トラッキング現象が起こりやすい場所

湿気が多く水滴がかかりやすい場所（洗面所、台所等）。

家具等の裏側のコンセントにプラグを差し込んだままのところ。

エアコン等の使用により結露の生じやすい場所のコンセントにプラグが差し込まれている場所。

トラッキング現象を防ぐには

常にプラグを差しっぱなしのところは、時々抜いてきれいにする。

使用後は、コンセントからプラグを抜いておく

コンセント、テーブルタップ、電源プラグが異常に熱くなっているときは、すぐに使用をやめて電気店などで点検してもらう

旅行などで長期間外出するときは、コンセントからプラグを抜いておく

大掃除などの時に、チェックしきれいにしておく